

## 資料② 36期生 3年次必修科目および選択科目の説明資料

【1】 文系の必修科目（選択科目は[4]英語選択と、[5]選択枠A・B・Cがある）

型	科目	教科内容について	履修条件（他）
文系必修 21時間	現代文B(3)	2年次の教科書「現代文B」の後編を学習する。随想、評論、小説などさまざまな文章を通じて、読解力、論理的思考、豊かな人間性や社会性を養う。漢字や語彙の学習も行う。全ての教科科目の基本となる大切な科目である。	2年からの継続履修
	古典B(2)	2年次に学習した「古典B」の分野をさらに発展充実させた内容。できるだけ多くの古文・漢文に触れ、文章に託された古人の思いや思想について学ぶとともに、古文や漢文を正確に読解していく力を養成する。文系4年制大学受験には必要な科目である。	2年からの継続履修
	世界史B(2)	2年次の「世界史B」の続きを学習します。ルネサンス以降の西洋史を中心に、現代までの歴史を学んでいきます。	2年からの継続履修
	日本史B(2)	日本の近代史を学習します。主に政治・経済史を学習します。	2年からの継続履修
	数学B(2)	数列、ベクトルなどについて理解し、基礎的な知識を習得する。また、その機能を習熟し、事象を数学的に考察し表現する能力をつける。	
	生物(3)	生命現象と物質、遺伝子、生殖と発生、環境応答、生態と環境、進化と系統など、1年で学んだ生物基礎の内容をベースにして、より生物に関する深い知識を学ぶ内容である。	
	体育(3)	陸上競技やハンドボール、バスケットボール、ソフトボール、バレーボール等の球技を中心とした授業を展開する。また、選択種目も取り入れる。	
コミュ英語Ⅲ(3)	1、2年次の「コミュ英語Ⅰ、Ⅱ」の授業で身につけた読解力をさらに発展させ養成する。より多くの長文を読み、読解力や思考力を養うことを目的とした授業。		

【2】 英語専門コースの必修科目（選択科目は[5]選択枠Cのみ）

型	科目	教科内容について	履修条件（他）
英語専門 必修 27時間	現代文B(3)	2年次の教科書「現代文B」の後編を学習する。随想、評論、小説などさまざまな文章を通じて、読解力、論理的思考、豊かな人間性や社会性を養う。漢字や語彙の学習も行う。全ての教科科目の基本となる大切な科目である。	2年からの継続履修
	古典B(2)	2年次に学習した「古典B」の分野をさらに発展充実させた内容。できるだけ多くの古文・漢文に触れ、文章に託された古人の思いや思想について学ぶとともに、古文や漢文を正確に読解していく力を養成する。文系4年制大学受験には必要な科目である。	2年からの継続履修
	世界史B(2)	2年次の「世界史B」の続きを学習します。ルネサンス以降の西洋史を中心に、現代までの歴史を学んでいきます。	2年からの継続履修
	日本史B(2)	日本の近代史を学習します。主に政治・経済史を学習します。	2年からの継続履修
	数学B(2)	数列、ベクトルなどについて理解し、基礎的な知識を習得する。また、その機能を習熟し、事象を数学的に考察し表現する能力をつける。	
	体育(3)	陸上競技やハンドボール、バスケットボール、ソフトボール、バレーボール等の球技を中心とした授業を展開する。また、選択種目も取り入れる。	
	コミュ英語Ⅲ(3)	1、2年次の「コミュ英語Ⅰ、Ⅱ」の授業で身につけた読解力をさらに発展させ養成する。より多くの長文を読み、読解力や思考力を養うことを目的とした授業。	
	英語演習A(2)	大学入試に向けて長文読解問題を扱う。4年制大学(摂神道桃～産近甲龍レベル)の問題演習中心。Bよりも発展的な内容。	
	英会話表現A(3)	①英検や入試で出題される会話表現を学び、会話問題対策とリスニング対策を行う。 ②スピーキングの練習やスキット、スピーチの暗唱、発表等を行う。	
	英文法演習(2)	入試向けの文法問題演習を行う。	
国際理解(2)	広い視野を持って異文化を理解し、高度な外国語コミュニケーション能力を養うことを目標とする。具体的には、国際社会の抱える課題等について情報を集め、英語でプレゼンテーションやディスカッションなどを行う。		

【3】 理系の必修科目（選択科目は[4]英語選択のみ）

型	科目	教科内容について	履修条件（他）
理系必修 27時間	現代文B(3)	2年次の教科書「現代文B」の後編を学習する。随想、評論、小説などさまざまな文章を通じて、読解力、論理的思考、豊かな人間性や社会性を養う。漢字や語彙の学習も行う。全ての教科科目の基本となる大切な科目である。	2年からの継続履修
	世界史B(2)	2年次の「世界史B」の続きを学習します。ルネサンス以降の西洋史を中心に、現代までの歴史を学んでいきます。	2年からの継続履修
	数学Ⅲ(5)	2年で学習する「数学Ⅱ・B」を発展させた内容。「教Ⅰ、教A、教Ⅱ、教B」の基礎の上になり立つ科目。将来理系学部に進学するにあたって、確実に留めておきたい科目である。	
	数学演習(2)	「数学Ⅱ+数学B」の問題集を使用し解法指導と演習を行う。数学Ⅱ+数学Bを試験科目にもつ大学等の受験に必要な能力をつける。	
	物理(4)	力学(運動量、円運動、力積、単振動、万有引力)、電磁気(電界、磁界、電磁誘導) 原子、分子、原子核、量子論等の分野を学習します。物理分野に関心があり、計算を苦手としないことが望ましい。	
	化学(2)	2年「化学」の続きとなる科目である。項目としては、「理論化学」「無機物質」「有機化合物」「高分子化合物」である。実験と同時に演習問題に取り組む。日々の復習は必須です。	2年からの継続履修
	体育(3)	陸上競技やハンドボール、バスケットボール、ソフトボール、バレーボール等の球技を中心とした授業を展開する。また、選択種目も取り入れる。	
	コミュ英語Ⅲ(3)	1、2年次の「英語Ⅰ、Ⅱ」の授業で身につけた読解力をさらに発展させ養成する。より多くの長文を読み、読解力や思考力を養うことを目的とした授業。	
	英文法演習(2)	入試向けの文法問題演習を行う。	

【4】 英語選択 一理系・文系の生徒は全員どちらか選択する ※英語専門コースの生徒はAが必修に含まれています

型	科目	教科内容について	履修条件（他）
全員選択 2時間	英語演習A(2)	大学入試に向けて長文読解問題を扱う。4年制大学(摂神道桃～産近甲龍レベル)の問題演習中心。Bよりも発展的な内容。	英語専門コースは必修
	英語演習B(2)	長文読解問題を扱う。1、2年で得た読解力を定着させるような基礎的な内容から大学入試レベルまでを扱う。	